



令和7年度「栃木県建設雇用改善推進大会」を開催

～建設労働者の雇用改善のために～

令和7年11月28日、宇都宮市のホテル東日本宇都宮において、栃木県建設雇用改善推進委員会、一般社団法人栃木県建設業協会主催、栃木労働局、栃木県、独立行政法人勤労者退職金共済機構栃木県支部、栃木県建設産業団体連合会共催による「栃木県建設雇用改善推進大会」が開催され、会員などの関係者約220人が出席しました。



谷黒克守 栃木県建設雇用改善推進委員会会長



川口秀人 栃木労働局長



吉原佳子 栃木県労働政策課長

式典では、主催者を代表して谷黒克守栃木県建設雇用改善推進委員会会長から、「建設業は大規模自然災害への対応や社会インフラの老朽化対策など、『地域の守り手』として社会から大きく期待されている。しかし、少子高齢化による入職者の減少や業界離れが深刻であり建設業を担う人材確保・育成が急務である。このため、時間外労働規制への対応をはじめとした『働き方改革』へ積極的に取り組むなどして、魅力ある業界へと進化していきたい。皆様は本日の大会を契機として、魅力ある職場づくりと雇用環境の実現に向けた取り組みを強化し、若者から選ばれる業界となるよう期待申し上げる。」とあいさつを述べました。

次に共催団体からは、はじめに川口秀人栃木労働局長より「栃木労働局では、建設業における人材確保・人手不足対策が喫緊の課題と認識し、若年者を含めた求職者支援や求人充足に向けた求人者支援マッチングを進めている。また、労働者の待遇改善の観点から、人材育成等を含めた賃金引上げを支援するための各種助成金を用意しているので、活用願いたい。11月30日には、楽しみながら将来の職業に対する理解を深めることを目的とした職業体験イベント『ジョブフェスとちぎ2025』の開催を予定しているので、是非会場へ足を運んでいただきたい。」とあいさつがありました。

栃木県知事の代理で知事のあいさつを託された吉原佳子栃木県労働政策課長からは、「県内の経済状況は長引く物価高や深刻な人手不足など、依然として厳しい状況が続いている。雇用情勢も持ち直しに足踏みがみられる。このため、県では新卒者への奨学金返還支援に加え、9月補正予算において35歳未満の従業員の奨学金返還支援に取り組む県内企業等を支援する『とちぎ奨学金返還企業応援事業』を創設した。本助成金支給を通じ、県内の魅力ある企業を増やすとともに、人材確保・定着促進を図り本県産業の持続的発展を実現して参る。」とあいさつを述べました。

続いて、建設雇用改善に功績のあった事業主の方々に対して、栃木県知事表彰が館野建設株式会社、株式会社万建設興業に、また栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰が株式会社入江組、加藤建設株式会

社、大関建設株式会社、岡田土建株式会社に授与され、建設業退職金共済制度普及協力事業所に対して独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰が株式会社清水造園、船生建設株式会社に授与されました。

式典後は、記念講演が行われ、有限会社アプローチ代表取締役社長の河内理恵氏による「危険感受性を高める建設現場のコミュニケーション」と題したご講演をいただきました。河内氏は、PHPビジネスコーチング資格、産業カウンセラー資格をお持ちであり、元NHKニュースキャスターのキャリアを活かし、伝わる職場コミュニケーション、メンタルヘルス、コーチングの講師として講演・研修活動を展開しているほか、「安全は現場コミュニケーションから」、「ヒューマンエラーをなくそう」など、安全大會講師としてもご活躍なされております。

建設現場において、いつ事故が起きてもおかしくない建設業にとって、大変ありがたいお話を拝聴いたしました。会場では明るい笑顔とともに、大きな拍手が鳴り響きました。

受賞事業者名

■ 栃木県知事表彰

館野建設株式会社	(下都賀支部)
株式会社万建設興業	(那須支部)



栃木県知事表彰受賞者

■ 栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰

株式会社入江組	(宇都宮支部)
加藤建設株式会社	(日光支部)
大関建設株式会社	(芳賀支部)
岡田土建株式会社	(安蘇支部)



栃木県建設雇用改善推進委員会会長表彰受賞者

■ 独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰

株式会社清水造園	(宇都宮支部)
船生建設株式会社	(塩谷支部)



独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰受賞者